

# 株主通信

2025年3月期(通期)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

**第一工業製薬株式会社**

証券コード: 4461

## Contents

ごあいさつ ..... 1

トップインタビュー ..... 2

「こたえる、化学。」を追求し、  
「SMART 2030」達成を  
実現してまいります。

決算サマリー ..... 4

中期経営計画 SMART 2030 ..... 5

事業セグメントの概況 ..... 7

株主優待ポイントのお知らせ ..... 8

株主優待特別販売クーポンのご案内 ..... 9

決議結果・株式の状況 ..... 10

会社概要 ..... 11



株主の皆さまには、  
平素より格別のご高配を賜り  
厚くお礼を申し上げます。

代表取締役社長 **山路 直貴** (右)

2025年4月より5カ年の新中期経営計画「SMART 2030」が始動しました。当社は「ユニ・トップ」戦略を掲げる研究開発型企业として、お客さまのニーズに応え、総合提案力で選ばれる企業をめざしています。また、社員の成長とチャレンジを重視し、人的資本経営の向上につとめます。「こたえる、化学。」のスローガンに基づき、数値目標を達成してまいります。

代表取締役常務取締役 **清水 伸二** (左)

2025年4月より代表取締役常務を拝命しました。1992年の入社以来、生産、財務、人事、海外子会社の経営に従事し、スマート工場化やDXプロジェクトの推進、資本戦略の策定などに尽力してまいりました。化学業界は急速に変化しており、環境負荷の低減と循環型経済への転換が求められます。当社も柔軟に取り組み、持続可能な成長をめざします。







## 「こたえる、化学。」を追求し、 「SMART 2030」達成を 実現してまいります。

新中期経営計画「SMART 2030」では、  
「ユニ・トップ」、「サステナビリティ」、「チャレンジ」の3つをキーワードとして、  
2030年3月期に売上高1,000億円、営業利益100億円をめざしてまいります。

代表取締役社長 山路 直貴

### ★「FELIZ 115」の振り返りと 当社グループの現状について

2025年3月期（以下、「当期」）は中期経営計画「FELIZ 115」の最終年度でした。「FELIZ 115」の最初の2年間は、事業ポートフォリオの見直しによる選択と集中により既存事業の利益が改善しました。2023年3月期は、新型コロナウイルスやロシアによるウクライナ侵攻の影響により経済は停滞し、市場環境は厳しい状況に陥りました。また、原材料・エネルギーコスト上昇が、収益へ悪影響を及ぼしました。2024年3月期以降は、ハイエンドサーバ向け光硬化樹脂材料の需要拡大や市況の回復にともなう販売数量の増加、製品値上げによる価格転嫁が進

み、業績のV字回復を達成しました。

当期も海外から安価な化学品が流入するなどマイナス要因はありましたが、ハイエンドサーバ向け光硬化樹脂材料の需要は好調を維持し、新規電池材料の販売も開始しました。そのため、営業利益率は改善し、3月に通期予想の上方修正を行いました。こうした結果、当期は連結売上高が73,255百万円（対前期比16.1％増）、同営業利益が5,351百万円（対前期比157.6％増）となり、売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。

### ★新中期経営計画「SMART 2030」について

#### 背景と概要

ここ数年、化学業界では特に界面活性剤などのコモディティ化が進んでいる分野で、中国の安価な汎用品の流入が増加しています。こうした外部環境の変化に対応するため、化学企業各社はコモディティから高付加価値製品への転換を図っています。当社としても、付加価値が期待できる分野に向けて、タイムリーな製品を開発・提供することが重要な課題となります。また、前中計「FELIZ 115」でもさまざまな取り組みを進めてまいりましたが、研究開発と人的資本のさらなる強化に向けて、新中期経営計画

「SMART 2030」においても、引き続き重点的に取り組んでまいります。

「SMART 2030」では、規模を追わず独自性でトップになる「ユニ・トップ」、環境・社会・ガバナンスに配慮し、持続可能な成長を促す「サステナビリティ」、協働力と柔軟性を持ち、技術革新と環境対応に挑む「チャレンジ」の3つのキーワードのもと、新たな企業価値を創造し、行動規範を整え、付加価値を生み出す企業に変革します。

#### 組織と人事制度改革

これまでは営業本部と研究本部という組織体系で、営業は用途別、研究は素材別の管理となっていました。しかし、情報のスムーズな連携・共有に課題があったことから、事業本部制を導入し、営業・研究一体となった分野別の事業部を設置しました。お客さまの課題解決や新たな開発テーマに対して迅速に対応できる体制を整えるとともに、事業責任を明確化した組織運営を進めてまいります。

また、経営直轄組織として京都中央研究所、生産技術研究所を設置し、研究開発力の強化とスピードアップを図るとともに、開発テーマを短期、中・長期に分け、開発期間を短縮し事業効率及び競争力の向上を図ってまいります。

さらに、新たな人事制度の導入により、労働生産性向上を図ってまいります。成果が正当に評価される評価制度を構築し、社員の成長が企業の成長につながるよう人材育成に注力するとともに、チャレン

ジした社員が賞賛される企業風土の醸成を推進してまいります。

#### 2030年に向けた成長戦略

従来は、材料別の6つのセグメントで開示をしておりましたが、「SMART 2030」では、分野別の営業組織になることに鑑み、「電子・情報」、「環境・エネルギー」、「ライフ・ウェルネス」、「コア・マテリアル」の4つのセグメントで管理・開示を行ってまいります。

また、「SMART 2030」では、前半2年を**Phase 1**、後半3年を**Phase 2**とし、2030年3月期に売上高1,000億円、営業利益100億円をめざします。

**Phase 1**は「過去を超える」と題し、霞工場などの現有資産の活用最大化、電子材料やサステナブル材料、ディスプレイ材料などの新規開発促進と販売数量増加に取り組み、ライフサイエンス事業の黒字化に目途をつけることを目標としています。

**Phase 2**は「未来へ翔ける」と題し、半導体材料、電池材料、においビジネスなど新規開発分野の早期事業化と収益化とともに、電子・情報、環境・エネルギー、ライフ・ウェルネスなどの注力分野へは積極的な設備投資を実施し、総資産回転率1.0回をめざしてまいります。

#### 当社の強みを活かす

創業から115年にわたり培った技術を背景に、幅広い産業分野へ材料を提供していることが当社の強みです。中国企業が製造・販売する安価な界面活

性剤の台頭により、コモディティ化した製品で勝負することは難しくなり、競争力が失われています。

しかし、当社はお客さまのニーズに応じた機能や製造方法にカスタマイズし、最適な組み合わせを提案できる技術力を有しています。付加価値が発揮できる分野に対して、営業・研究一体型の組織で迅速に開発を進め、新しい製品を上市して利益を創出する体制を強化し、「SMART 2030」の目標達成を実現してまいります。

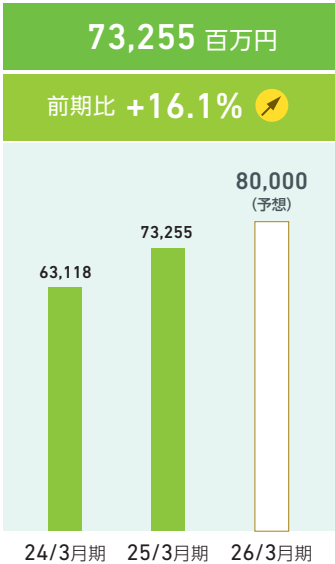
### ★株主の皆さまへ

当社は、「ユニ・トップ」戦略掲げる研究開発型企業であり、お客さまのニーズにお応えし、総合提案力で選ばれることを目標としています。「SMART 2030」は、人的資本を含む無形資産の最大化と企業の成長を連動させる変革・実行を骨子としています。私は、企業の原点は何よりも「人」だと考えています。社員の成長とチャレンジを重視し、取り組み意欲の向上と健康経営を推進してまいります。

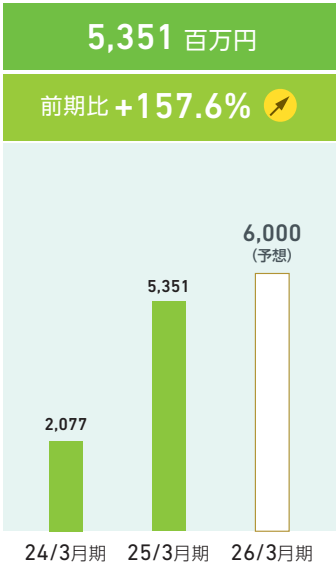
地球温暖化、資源の枯渇などの環境問題、少子高齢化などさまざまな社会課題が私たちの暮らしを取り巻いています。当社は、新中計「SMART 2030」達成に向け、環境や生活の安全性・快適性などを高めるため、「こたえる、化学。」を追求してまいります。株主の皆さまには、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算サマリー

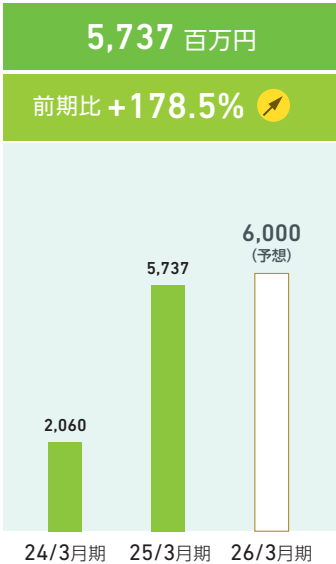
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する  
当期純利益 (百万円)



ポイント

**営業利益**

『機能材料』セグメントを中心として売上高が伸長したことにより収益性が改善し、営業利益53億51百万円(前期比157.6%増)となりました。

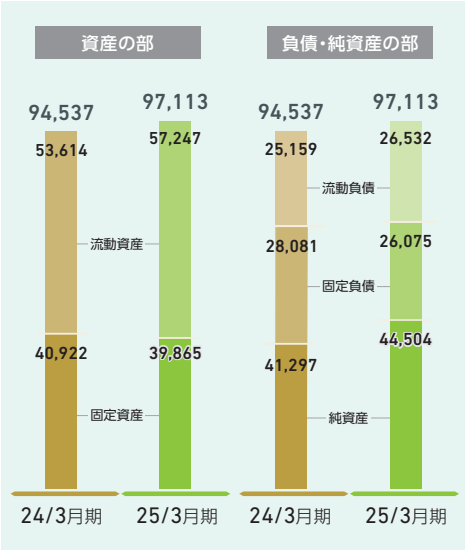
**総資産**

前連結会計年度末に比べ25億75百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が6億25百万円、受取手形及び売掛金が15億43百万円、商品及び製品などの棚卸資産の合計が17億59百万円増加したことなどによるものです。

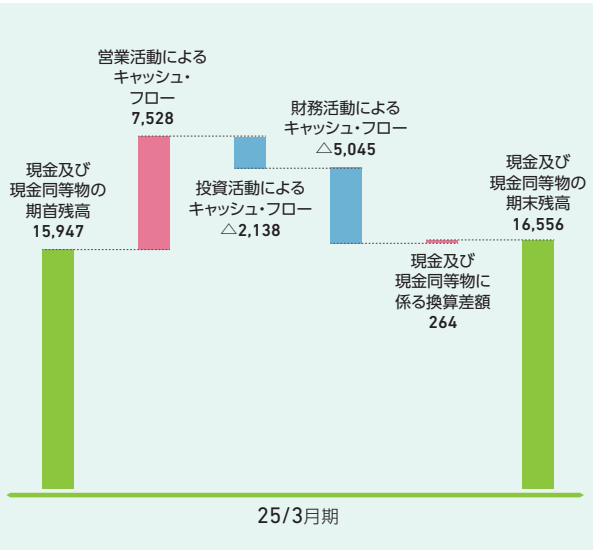
**純資産**

前連結会計年度末に比べ32億7百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益25億85百万円及び剰余金の配当8億61百万円などにより利益剰余金が17億24百万円、非支配株主持分が12億25百万円増加したことなどによるものです。

連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



配当金・配当性向



**キャッシュ・フロー**

現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末と比べて6億9百万円増加し、165億56百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益51億94百万円、減価償却費32億23百万円、仕入債務の増加13億7百万円などにより資金が増加したことによるものです。

# 中期経営計画 SMART 2030

社会のさまざまな課題を解決するスマート・ケミカルパートナー

## DKSがめざす行動・人財



### ユニ・トップ

規模を追わず独自性で  
トップになる



### サステナビリティ

環境・社会・ガバナンスに  
配慮し、持続可能な成長を促す



### チャレンジ

協働力と柔軟性を持ち、  
技術革新と環境対応に挑む

## 2030年に向けた成長戦略～トピックス～

### 開発促進

新製品化率向上  
組織改革



事業本部制の導入  
生産技術研究所の設置

### サステナビリティ

企業価値向上  
GX戦略推進



環境貢献型製品の拡大  
GHG排出量の削減

### 新人事制度導入

労働生産性向上  
人事制度改革



評価制度の再構築  
教育制度の充実

ユニ・トップ  
山頂＝独自性でトップ



チャレンジ  
矢印＝挑戦

サステナビリティ  
緑の葉＝持続可能性

SMART 2030

## 2030年に向けた成長戦略 ～開示セグメント変更～

材料別6セグメントから分野別4セグメントへ、  
開示セグメントを変更し、新製品化率と収益の向上をめざします。

### 電子・情報

デジタル社会への貢献



情報通信関連材料  
半導体周辺分野

### 環境・エネルギー

脱炭素社会への貢献



電池用材料  
電子制御材料(モビリティ分野等)

### ライフ・ウェルネス

健康社会への貢献



生活、QOL向上に関する  
材料分野

### コア・マテリアル

循環型社会への貢献

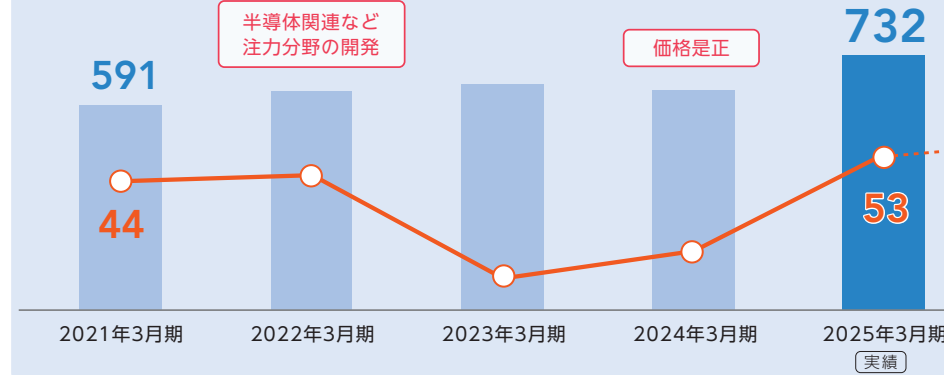


DKSの基盤技術  
注力3分野への展開

## 経営目標

注力分野の開発促進、及び積極的な設備投資により2030年3月期売上高1,000億、営業利益100億をめざします。

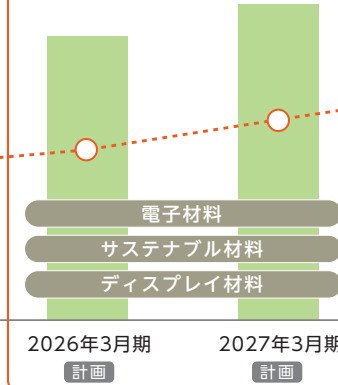
■ 売上高(億円)  
○ 営業利益(億円)



FELIZ 115

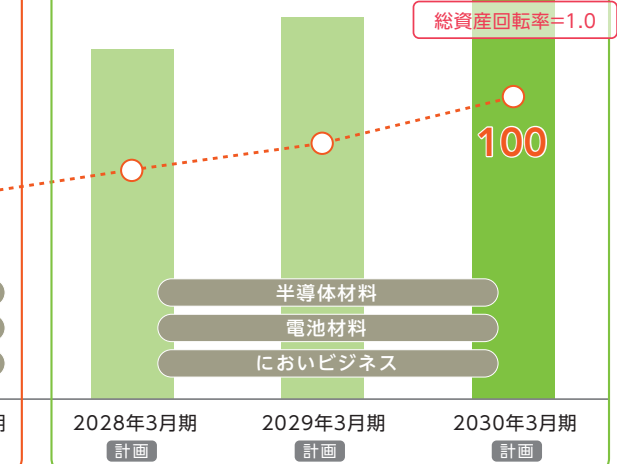
### Phase1

霞工場などの現有資産の  
活用最大化  
ライフ黒字化に目途



### Phase2

新規開発の収益化



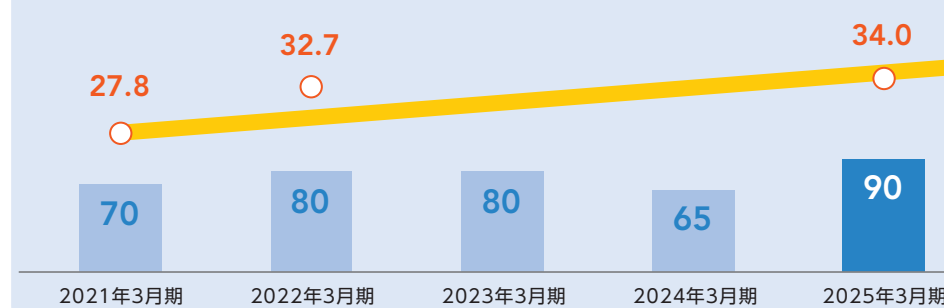
SMART 2030

## 株主還元の方針

(2025年1月29日現在)

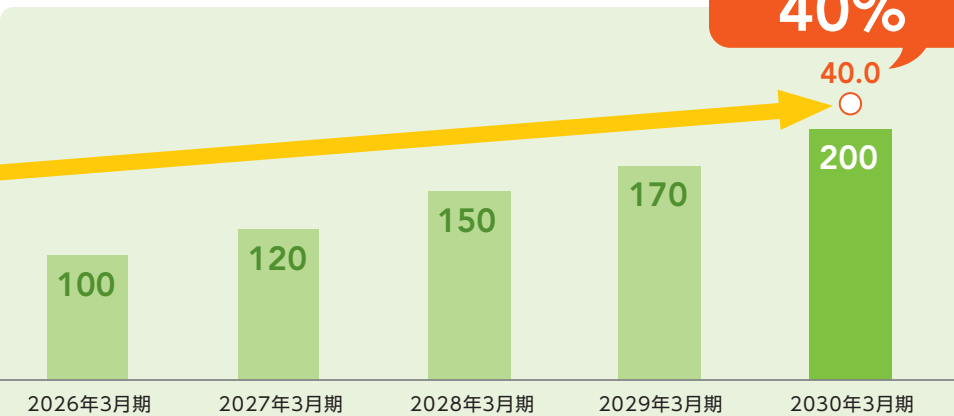
連結配当性向40%を最終目標とし、株主の皆さまへ積極的な株主還元を実施します。

■ 1株当たり配当金(円)  
○ 連結配当性向(%)



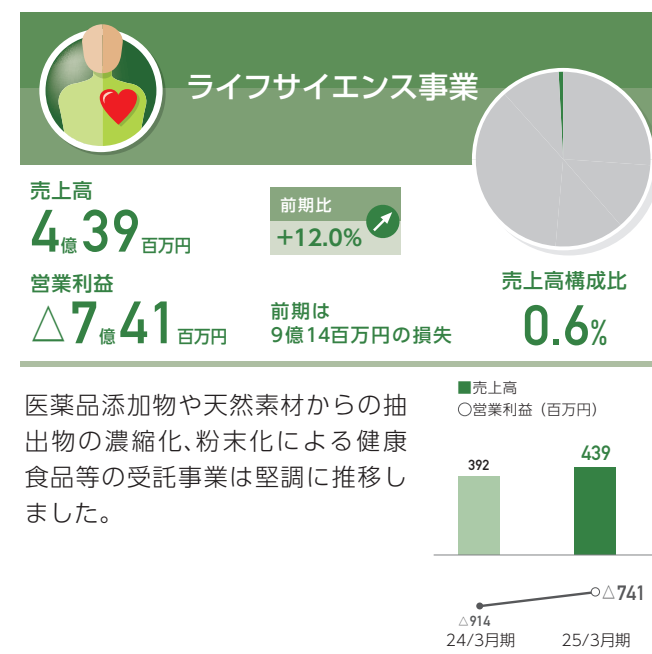
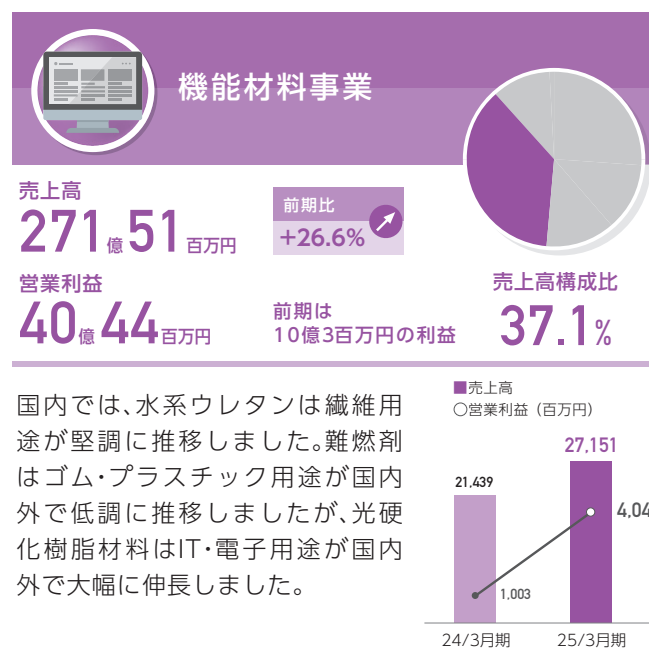
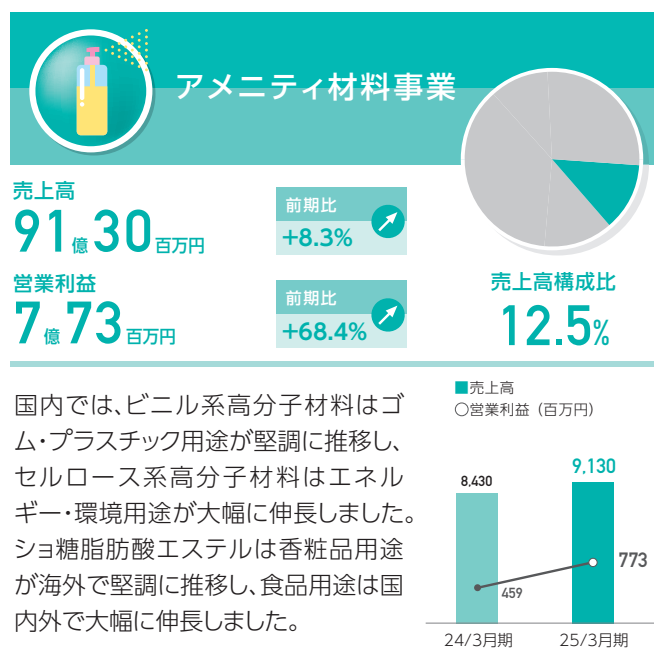
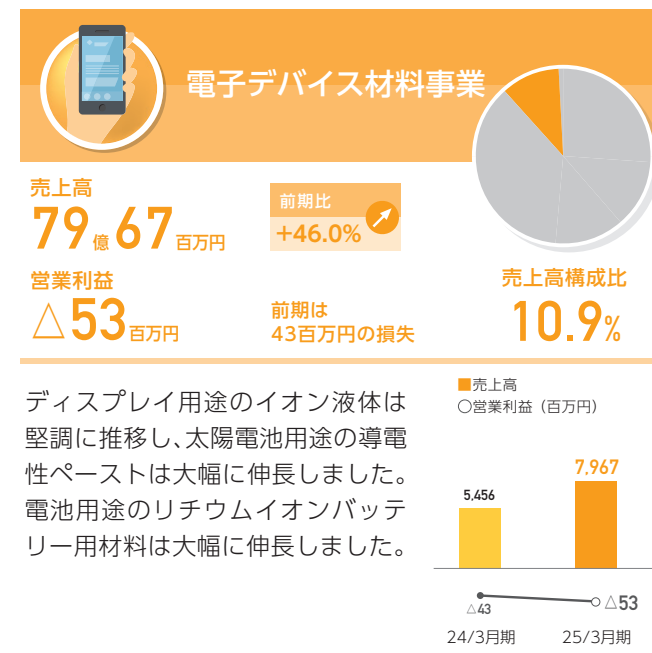
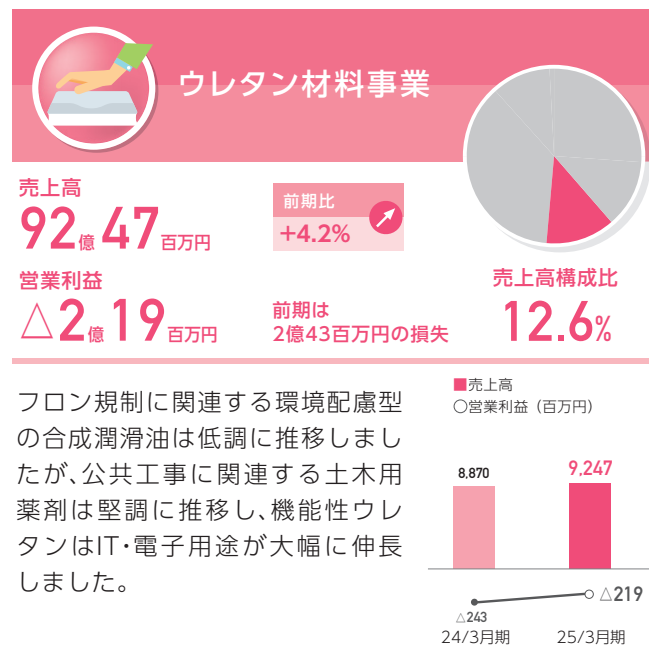
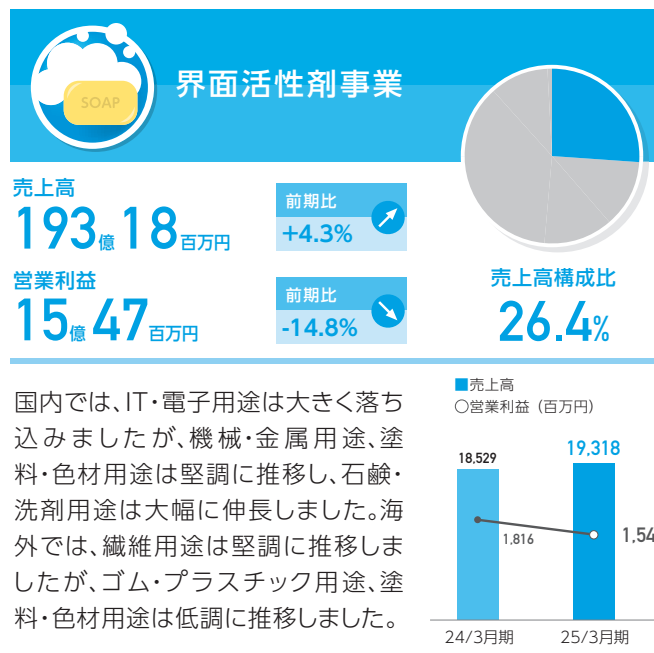
## 配当性向(目標)

40%





## 事業セグメントの概況



## 株主優待ポイントのお知らせ

### Point 1

2025年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有の株主さまを対象として、右表に基づき保有株式数に応じた株主優待ポイントを進呈いたします。株主さま専用の特設ウェブサイト「第一工業製薬プレミアム優待倶楽部」で、当社商品の消臭・除菌スプレー「NIOCAN®」や機能性表示食品「快脳冬虫夏草®」をはじめ、お米やブランド牛などの厳選されたグルメ商品を含む4,000種類以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。また、他のプレミアム優待倶楽部導入企業の優待ポイントと合算可能な共有株主優待コイン『WILLsCoin』への交換も可能です。2025年5月中旬に「優待倶楽部のご案内」をお送りしております。

#### WILLsCoinとは

株主優待ポイントをWILLsCoinと交換することでポイントの合算や有効期限の延長ができます。



### Point 2

また、株主の皆さまにはもれなく、当社ライフサイエンス関連商品を特別価格で購入いただける「株主優待特別販売クーポン」を進呈いたします。2025年6月下旬に配当金関連書類とともにお送りしております。

P.9にクーポンを記載しております。

<https://dks.premium-yutaiclub.jp/>



株主優待ポイントに応じた商品への交換ができます

#### 株主優待ポイント表

保有株式数	進呈ポイント数	進呈時期
100株～299株	1,000 point	5月中旬
300株～499株	3,000 point	
500株～999株	5,000 point	
1,000株以上	6,000 point	

#### 進呈条件

2025年以降、毎年3月末日の株主名簿に、1単元(100株)以上保有される株主さまとして記載されること。

#### 繰越条件

2025年以降、9月末日、3月末日において株主名簿に同一株主番号で連続3回以上記載され、かつ100株以上継続保有されている場合のみ繰り越せます(最大1回まで)。3月末日の権利確定日までに売却やご本人さま以外への名義変更及び相続等により株主番号が変更された場合は、当該ポイントは失効となり、繰越はできませんので、十分にご留意ください。

## 株主優待特別販売クーポンのご案内

最大 **36% OFF !!**

有効期限: 2025年10月31日(金)まで

#### 株主優待特別販売クーポン

 ニ オ キ ャ ン <b>NIOCAN®</b> 500mL スプレーボトル	希望小売価格 <b>2,640円</b> (税込)	➡ 株主優待価格 <b>2,100円</b> (税込)	<b>20% OFF</b>
 ニ オ キ ャ ン <b>NIOCAN®</b> 1000mL 詰め替え	希望小売価格 <b>3,300円</b> (税込)	➡ 株主優待価格 <b>2,640円</b> (税込)	<b>20% OFF</b>
 <b>快脳冬虫夏草®</b> 90粒入り(約30日分)	希望小売価格 <b>11,000円</b> (税込)	➡ 株主優待価格 <b>7,000円</b> (税込)	<b>36% OFF</b>
 <b>天虫花草®</b> 120粒入り(約30日分)	希望小売価格 <b>11,000円</b> (税込)	➡ 株主優待価格 <b>7,000円</b> (税込)	<b>36% OFF</b>
 ス ダ チ ン <b>Sudachin®</b> 60粒入り(約30日分)	希望小売価格 <b>2,700円</b> (税込)	➡ 株主優待価格 <b>2,160円</b> (税込)	<b>20% OFF</b>

2025年10月31日(金)までのご注文はこちらから

お電話もしくはFAXをお願いします。  
後払い・代引きがご利用いただけます。

お届け先が別の場合、支払い方法は後払いのみとなります。

特別販売の  
ご注文・  
お問い合わせ

第一工業製薬 株主優待事務局

 **0120-15-4461**

受付時間 月～金 9:00～17:00  
(祝日除く)

FAX **0247-57-6511**

受付時間 24時間

2025年8月8日(金)～8月17日(日)は、商品発送を休止いたしますのでご了承ください。

## 【NP後払いサービスの詳細】

請求書は商品に同封されていますので、ご確認ください。注文者さまのご住所とお届け先のご住所が異なる場合は、請求書は商品に同封されず、購入者さまへお送りいたします。商品代金のお支払いは「コンビニ」「郵便局」「銀行」どこでも可能です。請求書の記載事項に従って発行日から14日以内にお支払いください。後払い手数料:無料 後払いのご注文には、株式会社ネットプロテクションズの後払いサービスが適用され、同社へ代金債権を譲渡します。NP後払い利用規約及び同社のプライバシーポリシーに同意して、後払いサービスをご選択ください。ご利用限度額は累計残高で55,000円(税込)迄です。ご利用者が未成年の場合、法定代理人の利用同意を得てご利用ください。

## 決議結果

### 第161期定時株主総会決議のご通知

2025年6月25日開催の第161期定時株主総会は、お蔭さまをもちまして終了いたしました。その決議の結果につきましては、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載しております。

こちらをご覧ください

<https://www.dks-web.co.jp>

化学は世界を楽しくする。



**第一工業製薬**

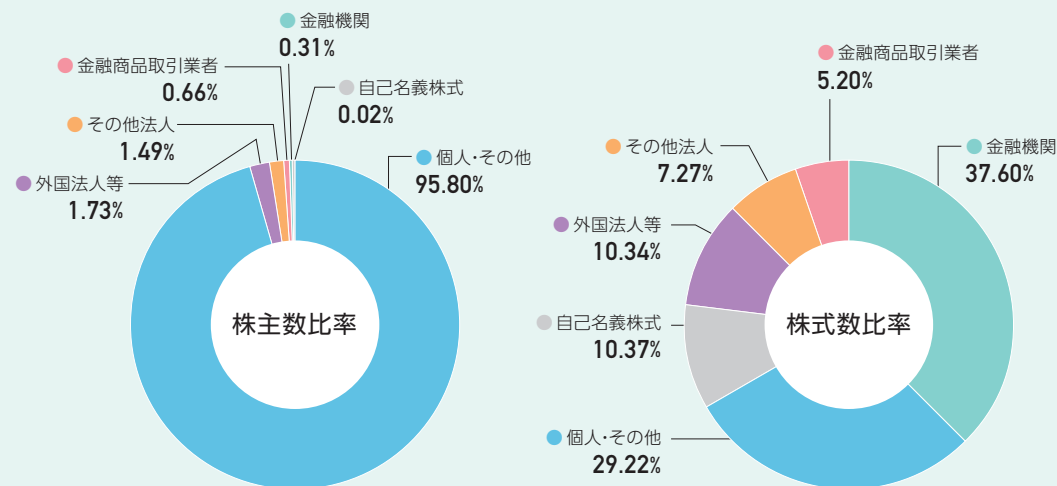


### IR情報サイト



## 株式の状況 (2025年3月31日現在)

### 株主分布状況



### 大株主一覧(上位10名)

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,007,100	10.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	632,200	6.60
第一生命保険株式会社	552,100	5.77
株式会社みずほ銀行	427,000	4.46
株式会社京都銀行	417,000	4.35
DKS取引先持株会	397,600	4.15
朝日生命保険相互会社	339,400	3.54
第一工業製薬従業員持株会	303,040	3.16
野村證券株式会社自己振替口	160,400	1.68
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	149,396	1.56

(注) 持株比率は自己株式1,108,487株を控除して計算しております。



会社概要 (2025年3月31日現在)

会社概要	
社名	第一工業製薬株式会社
創業	明治42年4月
創立	大正7年8月
資本金	88億9,520万円
従業員数	594名(連結1,138名)

取締役、監査役 (2025年6月25日)	
役 職	氏 名
代表取締役社長	山路 直貴
代表取締役常務取締役	清水 伸二
取締役	坂本 真美
取締役	北尾 真大
取締役(社外取締役)	奥山 喜久夫
取締役(社外取締役)	橋本 克己
取締役(社外取締役)	中野 秀代
常勤監査役	古澤 佳幸
常勤監査役	橋本 賀之
監査役(社外監査役)	高橋 利忠
監査役(社外監査役)	宮永 雅好

事業所
● 本店
● 本社
● 研究所
● 東京本社
● 名古屋支店
● 九州支店
● 四日市工場 千歳地区
● 四日市工場 霞地区
● 大湊工場
● 滋賀工場

株主メモ	
創業年月	明治42年4月(1909年4月)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日
	中間配当金受領株主確定日 9月30日
単元株式数	100株
発行済株式総数	10,684,321株(2025年3月31日現在)
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、みずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行(株) 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	上記みずほ信託銀行(株)までお問合わせください。
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード4461)

第一工業製薬株式会社

〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町48番地2  
TEL 075-276-3030 FAX 075-276-3031  
<https://www.dks-web.co.jp>

DKSレポート  
(統合報告書)は  
こちらから

